
5. 植栽管理計画策定に向けた課題

植栽管理計画策定に向けた課題を以下に取りまとめる。

①岡崎城跡の価値を高める植栽管理

- ・遺構の保全や歴史的景観の形成等を図り、岡崎城跡の価値を高めることを目的とした植栽管理計画とする。

②曲輪ごとの様相に適した植栽管理

- ・管理水準書では、高木や低木、一部のエリアを対象とした維持管理水準が示されているが、曲輪ごとの異なった趣を呈す空間らしさへの展開としては方針が示されておらず、どのように維持管理作業をするかは確認できても、どのような目標を目指して維持管理をするのかが不十分である。曲輪ごとの様相に適した樹木の維持管理や、曲輪と曲輪の関係性に配慮した植栽管理を行っていく必要がある。

③石垣や土塁に損傷を与えたり、景観を阻害する樹木の伐採や剪定

- ・本丸や持仏堂曲輪の清海堀や風呂谷曲輪や隠居曲輪、菅生曲輪の龍城堀において、石垣や土塁を損傷すると思われる樹木については、遺構に損傷を与えたり、景観を阻害するので、伐採、剪定を行う必要がある。
- ・当公園の歴史的景観にそぐわない外来種樹木については伐採の対象とする必要がある。

④天守や石垣への見通しを考慮した植栽管理

- ・総構えからの天守への見通しについては眺望点からの見通しを確保する。また、石垣への見通しが阻害されている箇所があるため、探索動線上の石垣への見通しを確保する必要がある。

⑤利用者の安全性に配慮した植栽管理

- ・園内には枯損木や枯れ枝が確認されるため、利用者の安全確保のための対処を行う必要がある。低木については場所によっては、園路広場を暗くし、防犯上も課題が見られる場合があり、剪定等を行う必要がある。

⑥来訪者に親しまれる植栽管理

- ・対象区域は都市公園であり、岡崎市民や来訪者の憩いの場として親しまれている。伊賀川及び菅生川（乙川）沿いのサクラを中心に、市内外の多くの人から親しまれている園内のサクラの維持保全に努める必要がある。